

# 脱炭素社会の実現に向けた 神奈川県の取組

2024年1月24日  
神奈川県



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

The icon for SDG 7, 'Affordable and Clean Energy', featuring a sun with a power button symbol in the center.

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう

The icon for SDG 9, 'Industry, Innovation and Infrastructure', featuring three interlocking cubes.

11 住み続けられる  
まちづくりを

The icon for SDG 11, 'Sustainable Cities and Communities', featuring a stylized city skyline.

13 気候変動に  
具体的な対策を

The icon for SDG 13, 'Climate Action', featuring a globe with an eye shape around it.

# これまでの神奈川県のパ策

- ➡ 「2050年脱炭素社会」の実現を表明（2019年）
- ➡ 「かながわ気候非常事態宣言」（2020年）

神奈川県 Kanagawa prefecture <http://www.pref.kanagawa.jp/>

Our own action creates the future that makes a difference.  
SDGs Future City Kanagawa Pref. Government

7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY  
9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE  
11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES  
13 CLIMATE ACTION

**FOR ZERO CARBON SOCIETY BY 2050**

**Yuji Kuroiwa**  
Governor of Kanagawa Prefecture

POP 9.2 million  
GDP \$350 billion

**By 2050, Kanagawa prefecture aims for net zero carbon emissions as leading SDGs prefecture !**

Kanagawa Prefectural Government  
Nov. 28, 2019 Kanagawa Prefecture

神奈川県  
Himawari-8 AH! 2019/10/11 07:40JST

JMA, NOAA/NESDIS, CSU/CIRA

**かながわ  
気候非常事態宣言**

1. 今のいのちを守るため、風水害対策等の強化
2. 未来のいのちを守るため、2050年の「脱炭素社会」の実現に向けた取組みの推進
3. 気候変動問題の共有に向けた、情報提供・普及啓発の充実

かながわ県庁  
SDGs未来社会  
SDG未来社会 かながわ版

COP25で展示されたメッセージボード

# 神奈川県温室効果ガス削減目標

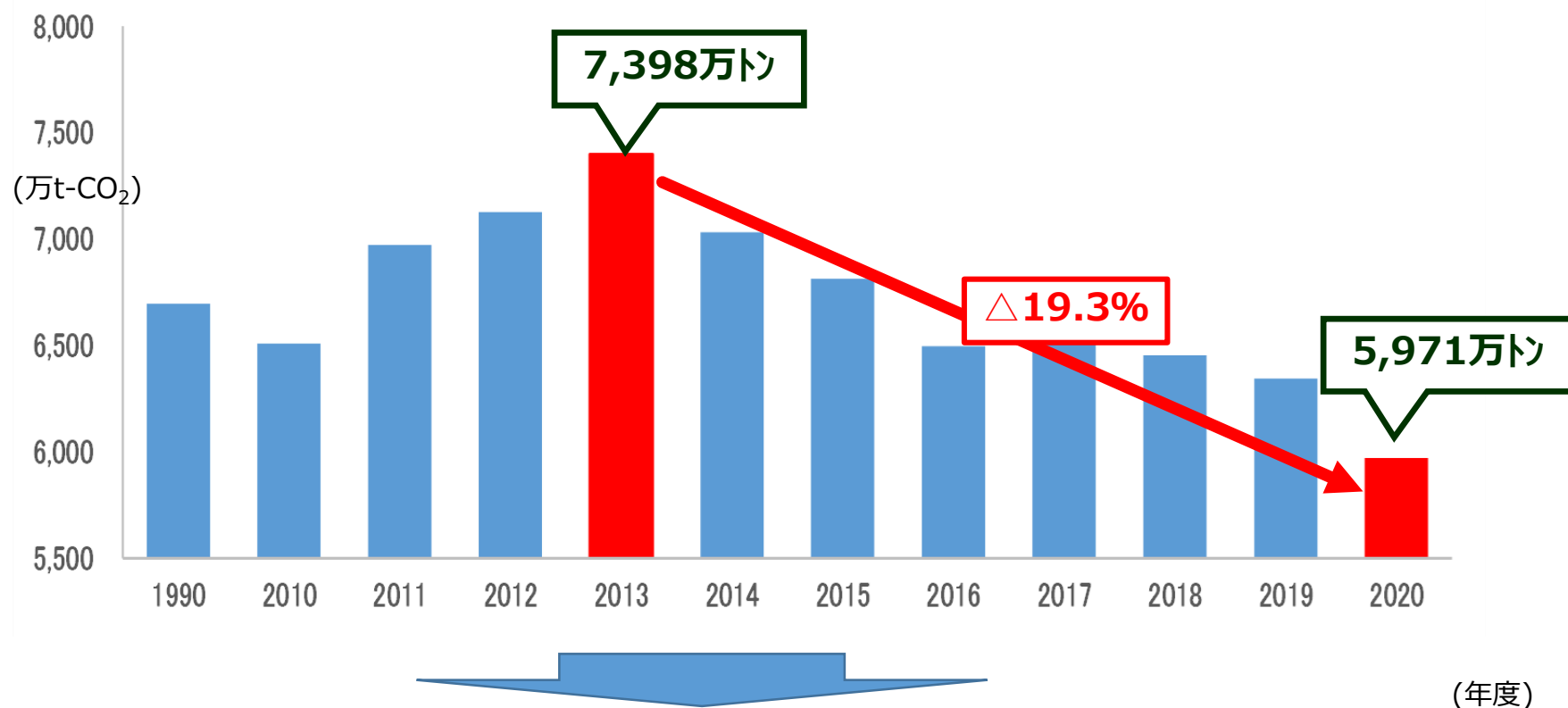
## 神奈川県地球温暖化対策計画 (2023年度末改定予定)



	中期目標 (2030年度、2013年度比)	長期目標 (2050年)
<b>新目標</b>	<b>△ 50%</b>	<b>脱炭素社会 の実現</b>
(参考) 国の目標	△ 46% さらに、50%の高みに向け挑戦	脱炭素社会の実現

# 県内の温室効果ガスの排出状況

県内の温室効果ガスは、2013年度比で2020年度は19.3%減少



**脱炭素社会を実現するためには、さらなる取組の強化が必要！**

# 県の役割

・2030年度50%削減や2050年脱炭素社会実現は、  
県単独の取組では達成不可能

・国、自治体、企業、県民などあらゆる主体が、脱炭素を自分事化し、「オールジャパン、オールかながわ」で推進することが重要



県の役割は ① 各主体の「後押し」(部門・地域)  
② 自らの「率先実行」

# 県の取組（部門別アプローチ）

## \* 部門毎に担当セクションを設置

### 産業部門 業務部門

- 自家消費型再生可能エネルギー導入補助
- 太陽光発電の共同購入
- 省エネルギー設備導入支援補助



### 運輸部門

- E V 導入費補助
- E V 用充電設備整備費補助
- F C V 導入費補助
- 水素ステーション補助



### 家庭部門

- 0円ソーラー（初期費用ゼロ）
- 太陽光発電・蓄電池の共同購入
- Z E H ・断熱改修への補助



# 県の取組（家庭部門）

## 若年者・地域向け脱炭素普及啓発事業

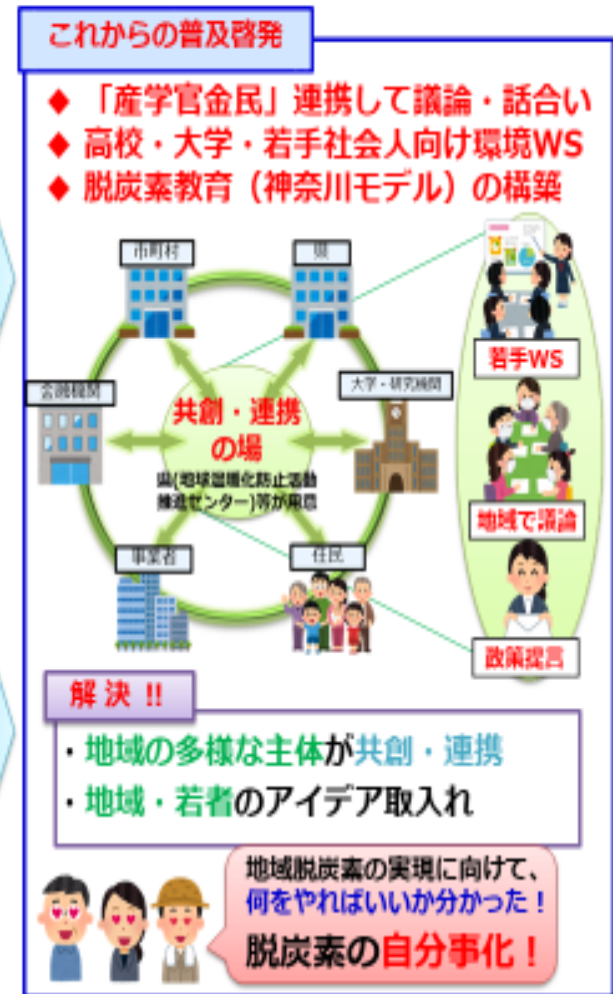
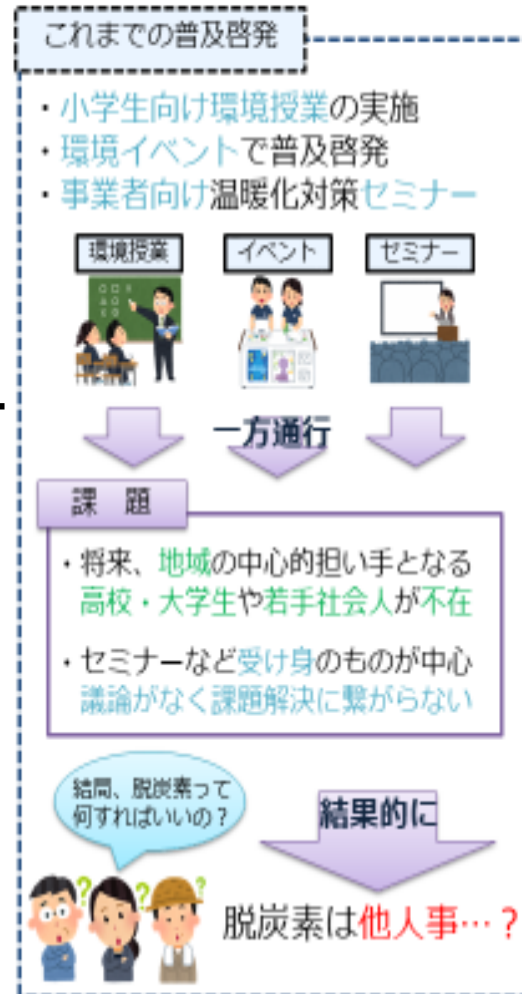
### ➤ 高校生向け脱炭素教育

希望ヶ丘高校、横浜瀬谷高校、  
平塚工科高校

### ➤ 大学生・若手社会人向け 脱炭素ワークショップ

### ➤ 地域脱炭素化に向けた 地域版ワークショップ

逗子葉山、横浜青葉、厚木



# 県の取組（家庭部門）

## かながわ脱炭素アクション創出事業



- ・ 広報展開
- ・ 効果検証

- ・ ポイント付与
- ・ 販売時に脱炭素のPR

京急ストア

株式会社京急ストア

生活クラブ

生活クラブ生活協同組合・神奈川

PLAZA

株式会社スタイリングライフ・ホールディングス  
プラザスタイルカンパニー

SEIBU SOGO

株式会社そごう・西武

pal\*system

生活協同組合バルシステム神奈川

FANCL 正直品質。

株式会社ファンケル

ポイント付与事業者

- ・ 地元産の野菜購入
- ・ マイボトル利用 等



家庭

脱炭素アクション

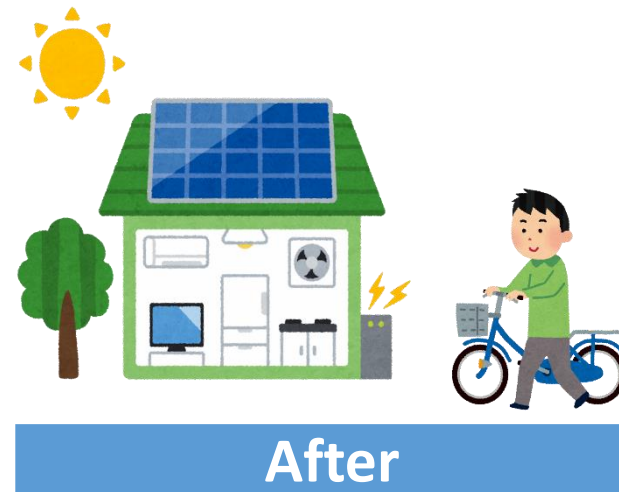


# かながわ脱炭素ビジョン2050

脱炭素を実現するには、行動変容が不可欠だが・・・



【課題】  
何をすればよいか  
分からない



脱炭素社会の将来像や今からできることを整理して、イメージを共有してもらえよう、「かながわ脱炭素ビジョン2050」を公表

# かながわ脱炭素ビジョン2050

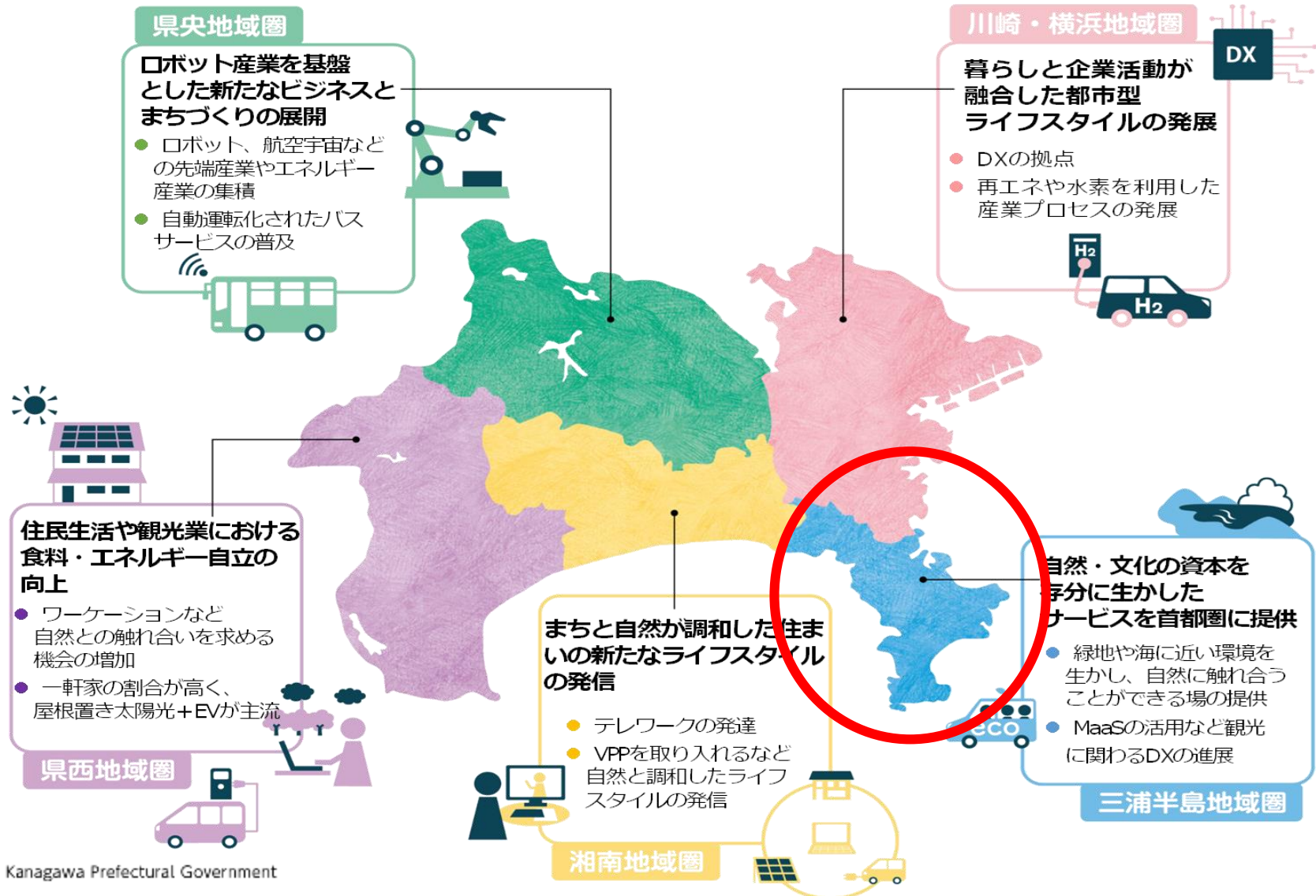
- 脱炭素達成に向けては、**徹底的な省エネ**を前提に、**再エネ、電化、DX**がキーワード

- ・使用するエネルギーを可能な限り「**電化**」
- ・エネルギー源の「**再エネ化**」
- ・「**DX**」により作業等の自動化・効率化
  - ☞ 社会の省資源化、「**省エネ化**」に繋げる

- 「供給・生産側」だけでなく、「**需要・消費側**」の変化も重要であり、その視点で整理

# かながわ脱炭素ビジョン2050

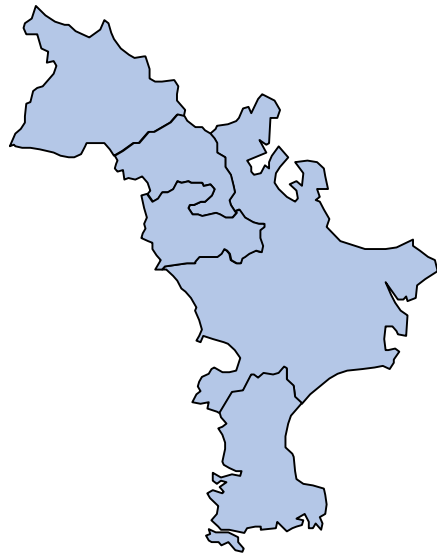
## 脱炭素に向け、地域の特徴を活かして、ライフスタイルが変化



# 県の取組（地域からのアプローチ）

## 三浦半島地域を県版脱炭素モデル地域に設定

令和4年7月記者発表



- 横須賀市
- 三浦市
- 鎌倉市
- 逗子市
- 葉山町

ゼロ・カーボンシティを表明！



- ★ MaaSの活用
- ★ モビリティの電動化
- ★ ブルーカーボンの取組



脱炭素と同時に、地域課題の解決を目指す！

# 県庁の率先実行

➡ 「2030年度までに、県庁の温室効果ガス70%削減」



## 取組 1

設置可能な県有施設のうち、2030年度までに50%、2040年度までに100%、太陽光発電を導入



## 取組 2

2028年度までに、公用車を全て電動車化



## 取組 3

2030年度までに、県有施設の使用電力を100%  
再エネに転換  
※今年度、すべての県立学校で再エネ電力化

ご清聴ありがとうございました

# Let's create a bright future together !



Co-funded by the European Union

“Kanagawa Decarbonization Vision 2050” was produced with the financial support of the European Union’s Partnership Instrument. Its contents are the sole responsibility of Institute for Global Environmental Strategies (IGES) and do not necessarily reflect the views of the European Union.